

委員会要旨

日 時	令和6年2月14日（水）午前10時から12時00分まで
場 所	軽井沢町中央公民館 講義室
件 名	第4回軽井沢町庁舎改築周辺整備事業推進委員会
出席者 委 員	池田靖史委員、市村強志委員、西垣忍委員、小林久史委員、大町哲也委員、千葉篤史委員、小林美智子委員、荒井美和委員、外川善行委員、小林里恵委員、島田茂夫委員、島崎直也委員、福原未来委員、柴崎雅寿委員、野村有里委員、船曳鴻紅委員、堀池玲子委員、堀内勉委員、山崎元委員、上田公三委員 町：土屋町長、小池副町長 事務局：中山総合政策課長、土赤まちづくり推進室長、佐藤 欠席：本城慎之介委員、大工原亮子委員、佐藤一郎委員、篠原幸雄委員
1. 開 会	
2. 議 題	
(1) 共に事業の見直しを行う設計事業者について（町長発言）	委員会の意見やパブリックコメントを踏まえ、「これまでの設計事業者（山下三浦JV）と共に事業の見直しを進めていく」ということを議会に報告し、2月6日付けで見直しに関する契約を締結した。 また、意見を踏まえて、町側の立場に立ったより専門的で具体的な助言や設計内容の確認を補助する役割を担うアドバイザーを置くことや、コミュニケーションの強化、情報公開にもさらに力を入れ、事業に反映させていきたい。 今後は、町と設計者が一体となり、見直してよかった、建ててよかったと住民をはじめ関係者の皆様から評価され、喜んでいただけるよう努める。
(2) まちづくりビジョンについて	町長より、まちづくりビジョンについての考えを説明後、委員と対話
【主な質疑】	
・今後の別荘人口についての見通しと考えは、	⇒別荘人口と別荘の件数含めて、ある程度今の数は維持していく必要はあるかと思うが、開発などとの様々なバランスが重要
・ビジョンの中で、この庁舎の建て替えがどのような位置づけや意味合いであるのか。	⇒大枠のなかで、「協働社会の実現」というようなオープンで繋がりを意識した庁舎、「国際水準の人権意識」を重要視した庁舎といったような位置付け。
・庁舎に関連し、公共交通のビジョンはどのようなものか。	⇒交通施策は重要視しており、この施策はどういう層の人をカバーするといったマッピングなども行いながら、全体像を整理しながら施策を考えている。
・交通施策と併せて駐車場に関する問題についてはどう考えているのか。	⇒駐車場（特に軽井沢駅）については町も問題意識を持っている。
・今後の町の人口ビジョンはどう考えているのか。	⇒町の人口増加については、落ちついてきていると感じているが、住む場所の問題で、一部は近隣市町に流れてもいると思うので、今後は、広域的に人口ビジョンを考えていかなければいけない。また、家庭ごみの量からも住民票は置いていないが、定住者も増えてきていることが推察されるのでその辺りも考えていきたい。

(3) 基本方針の見直しについての議論 【資料1 スケジュール案、資料2 事業の論点、資料3 基本計画書抜粋】

ア 今後の進め方について（事務局から説明）

- ・山下三浦JVと見直し契約後、改めてスケジュール調整をした結果
基本方針（5か月）＋基本計画（9か月）⇒基本方針（7か月）＋基本計画（7か月）にスケジュールを変更したい。（委員会としてはじっくり議論をしていくことを重要視しているの了承）
- ・委員会→WS→委員会→パブコメ→委員会など、常に委員会に協議しながら事業を進めていきたい。
- ・本委員会の委員の中からWSのファシリテーターをお願いしたい。
- ・今後の部会の分け方について協議したい。

【主な質疑・議論】

- ・スケジュールについて、いつまでに建てなければいけないといった期限はないのではないかと。（進行状況に応じてスケジュールが伸びていくのではないかと。）
- ⇒現在、山下三浦JVとの基本計画策定の契約の期限を令和7年3月31日としているので一旦はそれを目指して事業を進めていく。ただし、議論が進む中でどうしても間に合わない状況であれば、変更契約等を行いながらスケジュールを再度調整していく。
- ・山下三浦JVとの見直し契約5,918万円の中身を説明してもらいたい。
- ⇒次回、お示しできる範囲でお示しする。
- ・スケジュールについてかなりウォーターフォール（滝のように上流から下流へ工程が進んでいくこと。）に感じた。世の中はアジャイル（素早く・機敏に）に進んでいる中でこのような建付けが良いのか。
 - ・ファシリテーター、WSの設計、町のビジョンなどの部分をもう少し丁寧によく議論しながらはやって欲しい。
 - ・部会にするか否かの問題は、もう少し議論が進んだ後の方が良い。
 - ・事業費のキャップ（上限）についての議論を先においたうえで、内容の議論をしていくべきではないか。
- ⇒内容から議論するのか、予算から議論するのかについてはニワトリと卵なので、一概には言えないが、その両面から調整して議論していくべきではないかと。

イ 庁舎と公民館機能拡充施設について

※時間の都合上、次回へ持ち越し

(4) その他

- ・広報かるいざわ3月号に委員からのコメントを募集（1名の委員に依頼）
- ・次回の委員会は3/19（火）13：30から中央公民館大講堂

3. 閉 会

※委員長より、会議後も個別にコミュニケーションをとったうえで、委員会に参考意見などを述べることも可能との発言があった。